



「宮崎大学マッチング説明会&県内7基幹型臨床研修病院合同説明会」を開催



6月12日(金)、宮崎大学医学部生を対象とした「宮崎大学マッチング説明会&県内7基幹型臨床研修病院合同説明会」を開催しました。卒後臨床研修センター小松副センター長からマッチング概要の説明後、県内にある7つの基幹型臨床研修病院(県立宮崎/日南/延岡、古賀総合、宮崎生協、藤元総合、宮崎大学)の研修担当医師が研修プレゼンテーションを行い、82名の参加者に各プログラムの特徴やポイントをアピールしました。説明会後、フリートーク形式の懇親会も開催され、各研修担当者と学生との和やかな交流タイムとなりました。



新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会

第26回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会(宮崎県医師会主催)が4月28日(火)に宮崎観光ホテルにおいて開催されました。

祝賀会は宮崎県医師会長の挨拶に始まり、宮崎県知事、宮崎大学長から激励の言葉をいただきました。その後、新研修医代表として、田村充先生(写真左)が堂々たる立派な挨拶を述べられました。

また、祝賀会の途中では、招待された県内の研修医62名全員が自己紹介を行い、会場は大いに盛り上りました。県内の指導医・研修医が一同に会し、たいへんな熱気を感じた祝賀会でした。



レジナビフェア2015in大阪/レジナビフェア2015in東京

病院説明会「レジナビフェア2015in大阪」が7月5日(日)にインテックス大阪、「レジナビフェア2015in東京」が7月19日(日)に東京ビッグサイトで開催され、本院も宮崎県内基幹型臨床研修病院とともに参加しました。

大阪では47名、東京では54名の学生さんに宮崎県ブースへお越しいただき、各病院の研修担当者、研修医から各病院の研修プログラム、研修の魅力等について説明を行いました。



2年次研修医の1週間を密着取材!

(今回は、宮崎大学医学部附属病院 第三内科をローテート中の
松尾 優子先生にご協力いただきました)

松尾先生が現在ローテートしている第三内科は主に神経、呼吸器、内分泌、糖尿病・代謝領域の患者さんを診療しており、常時5~7名の研修医が研修を行っています。各グループそれぞれのカンファレンスや回診があり、受け持ち研修医として積極的に発言してもらい、診療へ参加しています。



記者 坪内 拓伸先生
(卒後臨床研修センター教員・第三内科)



毎週火曜日は、回診前カンファレンス、教授回診があります。カンファレンスでは神経、呼吸器、内分泌、代謝の4分野の症例すべてがプレゼンテーションされるため、担当以外の症例も学べ、疾患への理解を深めることができます。



神経グループでは、急性期脳血管障害や変性疾患など神経救急疾患から診断困難で治療の難しい疾患を経験し、神経疾患診療の知識を習得します。特に神経回診では自分のとった神経所見を指導医の先生がチェックするため、神経診察の力が鍛えられます。



呼吸器グループでは毎週月曜日に気管支鏡検査を、水曜日に画像カンファレンスを行っています。
(胸部単純写真の読影勉強会も定期的に開催していますので、研修医の方もお気軽にご参加下さい。)



病棟では、先輩研修医として、1年次研修医へアドバイスしている風景が良く見られます。1年次研修医の指導は自身の学習にもつながります。



内分泌・代謝グループでは、ホルモンの過剰や低下による特徴的な身体所見や検査値異常からホルモン作用異常を見通すことができるよう、深いディスカッションをカンファレンスで行っています。

糖尿病グループでは、担当の糖尿病症例を通してインスリン注射の使用方法や血糖モニタリング、食事療法などの患者教育の重要性を学んでいます。



第三内科の医師一同、卒後臨床研修センターと協力して、研修医のみなさんが立派なドクターになる手助けをさせていただきたいと考えています。

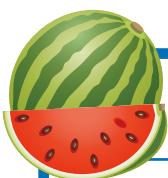


指導医からのメッセージ



長嶺 育弘先生

救命救急センター長嶺です。宮崎に帰って来て2年過ぎました。皆さん、救命センターでの研修って、どんなイメージですか？急性期は、秒・分単位で変わる状態を把握し対応することが必要です。そのため、それが怖いなと感じるかもしれません。でも、研修すれば面白く感じるようになります（多分！？そう指導します）。さらにドクターへり、ドクターカーでは、時として院内よりもさらに瞬時の判断が必要となります。研修医の皆さん、是非、病院外の世界も体感しに来て下さい！



研修センターコラム～認定産業医はいかがですか～



河野 太郎先生 (卒後臨床研修センター教員)

産業医とは、労働者の健康管理等について指導・助言を行う医師です。産業医の職務としては、労働者健康の診断・面接指導・管理・教育・相談・保持増進、健康障害の原因調査と再発防止、作業・環境の管理、少なくとも毎月1回の職場巡視などがあります。

さて、どうすれば産業医として認定されるか知っていますか？産業医科大学の卒業でしたら言わずもがなですが、それ以外の医師の場合は指定研修を修了しなければなりません。指定研修には医師会のものと産業医大のものがあり、手っ取り早いのが産業医大の基礎研修集中講座ですが6日間で8万円かかります。ちなみに、この認定を維持するには5年間で20単位（時間）の産業医学研修を受ける必要があります。

産業医大の集中講座は毎年8月上旬ころに2回実施されています。3月末までにホームページから登録を行うと4月中旬に受講意思確認の封書が届きます。それに承諾の返事をした方を対象に登録先着順で5月下旬以降に受講採否がなされます。定員は各回500名です。

体験談になりますが、産業医大での6日間の座学は苦痛でした。痔を患っているわけでもないのですが、講堂の木製座面は尻に来ます。座布団を持っていくべきかもしれません。横10列ほどの中央に座ると休憩時間に脱出するのが困難なので、毎日早めに到着して端の席を確保したいところです。2・3日目の開始前より3日に分けて産業医の映画上映がありますが、結構面白かったです。宿泊は黒崎か小倉がほとんどで、折尾駅へ通うことになります。折尾駅から産業医大へはシャトルバスが出ます。受講者の背景は様々で、研修医も結構いました。卒後出身県へ戻って外科医になった大学同期生とも偶然に約20年ぶりに再会し、その日の夕食は昔話で盛り上がりいました。

知らないことを学ぶことには、それなりに意義があり、ときに興味深く、チャレンジ精神がかきたてられ楽しいものもあります。勤務がゆるせるのであれば、こういうチャレンジもいかがでしょうか。

センター教員の先生紹介



森 晃佑先生 (卒後臨床研修センター教員)



はじめまして。今年度より外科系のスタッフとして卒後臨床研修センターの一員となりました、森晃佑と申します。現在は心臓血管外科に所属していますが、外科専門医取得を目指して外科の各分野をローテートしています。2年前までみなさんと同じ研修医だったことを生かして、みなさんと近い距離感で、みなさんと一緒に成長していくらと思っています。野球と甘いものが好きです。よろしくお願いします。



卒後臨床研修センター特別企画・講演会 ～厚生労働省医系技官のお仕事を知る～ を開催しました！



6月1日(月)、木内哲平先生(宮崎県健康増進課)、坂上祐樹先生(宮崎市保健所)、佐藤智代先生(在フィリピン日本大使館)をお招きし、「卒後臨床研修センター特別企画・講演会～厚生労働省医系技官のお仕事を知る～」と題した講演会を開催しました。当日は研修医、学生、教職員72名が参加しました。

3名の先生方には厚生労働省の医系技官とはどのような職務を担っているのか、現在の勤務先での業務、キャリアパス等についてご講演いただきました。質疑応答では、今後の進路選択の参考となるような質問もあがり、活発な意見交換が行われました。



行事案内（8月～12月）

8月	6日 (木)	第1回 歯科医師臨床研修マッチング面接
	17日 (月)	第1回 医師臨床研修マッチング面接
	20日 (木)	第2回 歯科医師臨床研修マッチング面接
	25日 (火)	みやざき若手医師キャリアプラン講演会・交流会
	27日 (木)	第3回 歯科医臨床研修マッチング面接
	31日 (月)	第2回 医師臨床研修マッチング面接
9月	3日 (木)	第4回 歯科医臨床研修マッチング面接
	10日 (木)	第5回 歯科医師臨床研修マッチング面接
	25日 (金)	宮崎大学診療科説明会
10月	22日 (木)	医師臨床研修マッチング決定
	27日 (火)	歯科医師臨床研修マッチング決定
11月	28日 (土)	ローテート説明会
12月	19日(土)～20日(日)	指導医のための教育ワークショップ(宮崎市)



なんでも
掲示板

研修『何でも掲示板』への原稿・記事募集！

研修に関する情報共有、意見交換の場として『何でも掲示板』のコーナーを開設します。内容は研修に関することなら何でも結構です。これは研修医に知ってほしいという情報、メッセージなどをぜひお寄せください。みなさまからのご応募をお待ちしております。

例) 【内容】 研修医や指導医へのメッセージ、研修関連勉強会の案内、トピックスの紹介など
【字数】 200～400字程度

【図表】 1点まで可(掲載できるサイズが小さくなります。)

※センター通信発刊月は毎年3回(4,8,12月)です。

宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2385/2386)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200

TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-3101

E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp